

平成29年度 5月

やちご通信 やすらぎと笑顔の学校



北九州市立八児中学校

文責 校長 井津 弘

5月の大型連休も終わり、学校も地道に日々の教育活動に邁進しています。

これからの各学年の予定です。(行事関係)

- ・ 2年生 「農村民泊体験学習」(大分県豊後高田) 5月16日(火)～18日(木)
- ・ 3年生 「修学旅行」(関西方面) 6月2日(金)～4日(日)
- ・ 1年生 「ふれあい合宿」(かぐめよし少年自然の家:小倉南区)
6月23日(金)～25日(日)

第一回目の土曜日授業(4月22日実施)

土曜日授業は、年に数回実施しています。4月22日(土)に今年度初めての土曜日授業を実施しました。1年生は授業参観、2年生は授業参観と農村民泊体験学習の説明会、3年生は、修学旅行及び第1回進路説明会が行われました。1年生にとっては初めての授業参観であり緊張した中にも日頃の授業の様子が垣間見ることができました。2年生は5月16日から2泊3日で実施される農泊の内容や経費などの説明を行いました。少人数のグループで年長者の方々の家にお世話になります。都会育ちの子ども達がゲームもないスマホもない農村でどのように生活していくのが楽しみです。3年生は6月2日から2泊3日で実施される修学旅行の説明でした。今年度も関西地区(京都・奈良)です。修学旅行は各教科で学んできたことや事前に見学する場所を様々な角度から調べて、本物にふれることになります。場所によっては少人数のグループで、学んだ事を決められた時間内に見学していくこともあります。全員が元気で帰校してくることと、天候が良ければと願っています。



次に、第1回進路説明会も同じ日に行われました。3年生にとっては、約8か月後には高等学校の入試が始まります。自分の夢に向かっての第一歩を踏み出してほしいものです。入試までの心構え・勉強方法などは日頃から授業や進路通信などを通して伝えていきます。この日は、どのような高等学校が受検できるのか。どのような学科があるのか。どのような受検方法があるのか。自分にあった学校の選び方など、保護者の皆様と一緒に生徒たちも学んでいきました。もちろん、義務教育終了後の就職も視野に入れているケースもあります。どこの高校や職場に行きたいかではなく、どの高校や職場で何をしたいかが一番大切なことです。

子ども読書の日(4月24日に実施)

毎年4月23日は「子ども読書の日」です。2001年に、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもたちが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されました。その法律によって、4月23日が「子ども読書の日」と定められました。これは、シェイクスピアとセルバンテスの命日である4月23

日をユネスコが「世界・本と著作権の日」と宣言していることなどにちなんだものです。この日を中心に、国や地方公共団体では、さまざまな取組が進められています。今年は23日が日曜日であったため、北九州市では4月24日（月）に市内の全校で実施しました。今、本離れが問題になっています。本校では毎朝、授業が始まる前に生徒一人一人が自ら選んだ本を読んだり、基礎学力の問題に取り組んだりしています。



家庭との連携の第一歩（家庭訪問）（4月25日～28日に実施）

一年生も入学して約1か月が過ぎようとしています。4月25日から28日まで家庭訪問がありました。各学級担任が生徒の家庭を訪問させていただきました。家庭訪問は学校と家庭とが密接な連携をとることによって、教師と保護者との間に教育上の協力関係を確かにしていくことがねらいです。学校で知ることのできない子どもの家庭での様子や保護者の学校教育に対する要望を聞くよい機会です。また、保護者懇談会や授業参観とならんで保護者の学校に対する理解・関心を深める絶好の機会でもあります。家庭と学校が子ども達を育むために最善をつくす第一歩と考えます。

部活動発足式・部活動保護者会（5月2日に実施）

一年生も入部し、全校の約7割の生徒が活動します。夏の大会やコンクール等を目指して、毎日一生懸命に練習をしています。保護者会では、次の内容について話をしました。

部活動の目的について、部活動を通して人と支え合う力、結果だけではなく自分が努力するプロセスも大切にしてほしい。何事にも目標をもって努力してほしい。

保護者をお願いとして、大会やコンクールへの応援を積極的にしてほしいということ、何か困ったことや疑問なことがあれば気軽に顧問または担任に相談してほしいということをお伝えしました。その後、各部ごとに保護者会を行い、有意義な会となりました。

保護者の皆様のご協力をよろしくお願いします。

《平成29年度 部活動顧問一覧》

- 剣道部 貝掛 ○合唱部 田中な・上田 ○男子卓球部 西・（光安外部コーチ）
- 美術部 中野 ○男女バスケット部 田中慎・角田・（吉永外部コーチ） ○女子バレー部 末永
- 華道部 森川・（中村外部指導員） ○野球部 甲斐・下川 ○女子ソフトテニス部 峯山・藤井
- ボランティア部 譜久原・（佐多外部指導員） ○放送部 中島 ○陸上部 大庭

校長のひとり言

家庭訪問で思い出すのは・・・私の子どもの頃は、家庭訪問と言えば先生が来られる前日に大掃除と決まっていた。子どもながらに、わざわざ今しなくても思っていました。しかし、家が狭いので一つの部屋の荷物を別の部屋に移動することでした。家庭訪問の当日は、担任の先生がいつ荷物置き場になっている部屋を開けないか心配しながら、親と先生の会話を隣の部屋で聞き耳を立てて聴いていました。その時に、いつも食べることができないお菓子や果物が出されていました。そのお菓子や果物を「先生が食べないでほしい。」と心の中で願っていました。先生が手を付けなければ、そのお菓子や果物を後で食べることもできたからです。でも、その後の親からの学校での様子についての御説教はまずかったです。